

[新製品リリース]

巧妙化するサイバー攻撃に対し、L2スイッチにセキュリティ機能を搭載した TiFRONT(ティーフロント)セキュリティスイッチを発売

2012年3月15日
株式会社パイオリンク

株式会社パイオリンク(本社:韓国・ソウル市、代表取締役社長兼 CEO: チョ・ヨン Chol、以下パイオリンク)は、安全なネットワーク構築を提供する上で欠かせない、サイバー攻撃に対する対策ソリューション製品、TiFRONT(ティーフロント)セキュリティスイッチを**2012年4月2日から販売開始**いたします。

一般的な、企業や組織における情報セキュリティ対策は、外部からのコアネットワーク対策が主流ですが、現在の巧妙化、複雑化する現在のサイバー攻撃では、内部からの**アクセスネットワーク**を経由するケースが多く発生しています。モバイル PC、USB 等、エンドポイント端末からのワームウイルス拡散は、状況を把握することが難しく、防衛にコストがかかるなど、極めて対策が困難な状況です。

アクセスネットワークにおけるセキュリティ対策としては、サイバー攻撃を「検知する」こと、そして検知したサイバー攻撃は直ちに「遮断する」ことが求められています。従来のアンチウイルスソフトなどの対策だけではアクセスネットワークにおけるサイバー攻撃の対策として不十分であり、悪性コードに感染したゾンビ PC による内部からのワームやウイルスのゼロディ攻撃、そして標的型攻撃などにさらされていますが、対策の実施及び管理において**高いコスト**が掛かるのが現状であるといえます。

このような昨今のサイバー攻撃に対して、TiFRONT-セキュリティスイッチは、サイバー攻撃対策として大きく二つの方法を提供します。一つ目は、アクセスネットワークにおいて、TiFRONT-セキュリティスイッチ単独でサイバー攻撃を「検知する」、そして「遮断する」対策です。もう一つは、従来の情報セキュリティとして実施してきた入口・出口対策ソリューションで「検知した」サイバー攻撃に対して、その発生元となる感染したゾンビ PC をアクセスネットワークで直ちに「遮断する」ことにより、ワームやウイルスのゼロディ攻撃、標的型攻撃(APT 攻撃)の遮断及び拡散を防止する対策です。

＜TiFRONT－セキュリティスイッチによるサイバー攻撃対策の概念図＞

対策1:

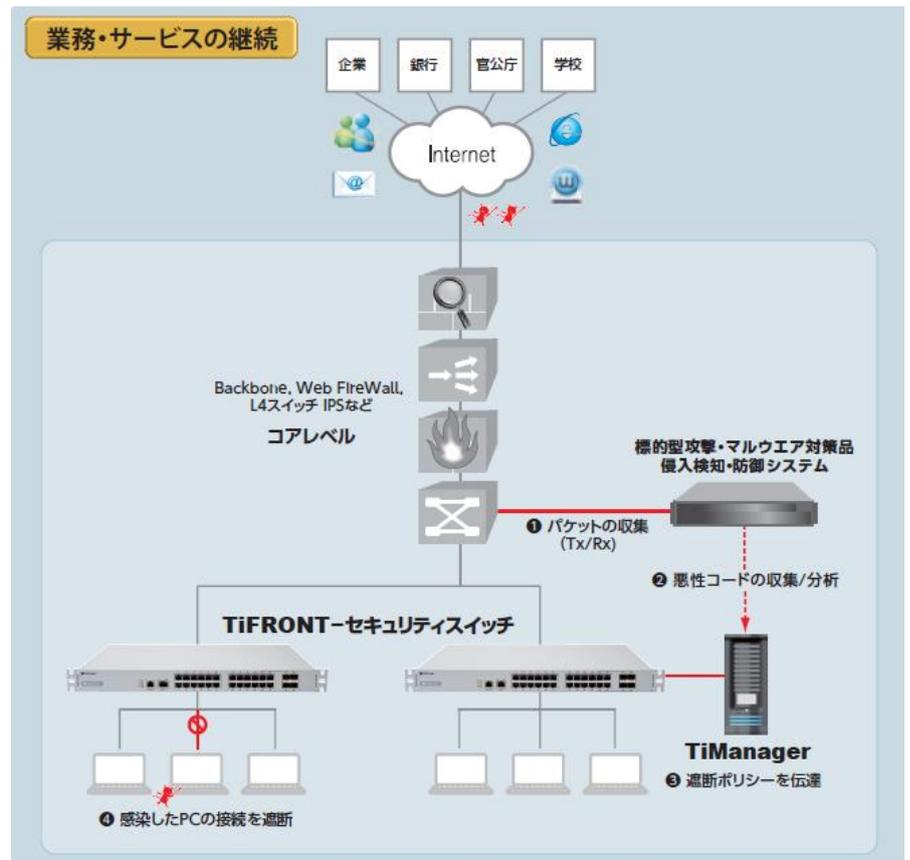
TiFRONT－セキュリティスイッチが
単独で検知し遮断

- ④ 感染した PC の接続を遮断

対策2:

他の検知する製品と連動して遮断

- ① コアネットワークよりパケットの
収集
- ② 悪性コードの収集/分析
- ③ TiManager により
遮断ポリシーの伝達
- ④ TiFRONT－セキュリティスイッチに
より遮断



TiFRONT－セキュリティスイッチは、「Traffic Inspection + FRONT」という意味で L2 スイッチング機能にセキュリティ機能を加えてクライアント PC の前段でトラフィックを検査するセキュリティスイッチです。TiFRONT は、既存 L2 スイッチ位置に設置され、DoS 攻撃を起す Land Attack、Tear drop、Smurf attack、TCP Syn Flooding、UDP Flooding、ICMP Attack、MAC Flooding 等を遮断し、感染したゾンビ PC をネットワークから隔離、ネットワークインフラを保護する役割を果たします。

パイオリンクが独自開発したOS及び、セキュリティエンジンは、危険度の分析及び予測力を高めるために数学的統計技法である Frequency Matrix モデルを応用した専用セキュリティエンジン「TiMatrix(ティーマトリックス)」を搭載。リアルタイムでパケット分析を通じたサイバー攻撃の検知率を向上させました。Frequency Matrix はトラフィック分析を通して危険度の予測力を高める方法として、送信元 IP アドレス、宛先 IP アドレス、ポート番号、時刻、インターバル、通信プロトコルの属性などのセキュリティ脅威の特性をマトリクス化して分析します。「TiMatrix(ティーマトリックス)」はL2 スイッチングの処理には影響を与えずに、L2 スイッチよりミラーリングしたパケットをCPUで処理する専用エンジンであるため、多様化するサイバー攻撃の変化に対してもOSのアップグレードより対応できる強みを持ちます。

また、TiFRONT には「TiManager(ティーマネージャー)」という統合管理システムを提供します。従来の管理システムが、主に機器の状態のモニタリング機能を提供するのに対し、TiManager はスイッチのモニタリング機能及びレポート機能に加えて、スイッチ別、グループ別セキュリティポリシーの設定し管理する機能を提供し、ネットワーク管理者の手間を省き、ROI(投資効果)に大きく貢献します。

以下に、TiFRONT-セキュリティスイッチの主な特徴を示します。

■ 「TiFRONT-セキュリティスイッチ」の特徴

●ARP spoofing 防止 : アカウント情報の窃取、IP 通話の盗聴回避

ポート単位で細密に判断するため、攻撃者と変造されたMAC被害者を区別、攻撃者の通信のみ遮断。

●DoS/DDoS攻撃を発生元で遮断 : トラフィック過負荷によるネットワーク速度の低下、サービス不可を防御

DoSトラフィックをセキュリティスイッチが検知すると、自動で攻撃トラフィックのみを遮断及び解除。

●ユーザー/IP基盤のアクセス制御 : 非許可端末からの悪性コード及びウイルス流入を遮断

IP/MACアドレス基盤のアクセス制御、IPリソース管理、802.1x基盤の認証、TACACS+、RADIUS等の認証サーバとの連動が可能、非許可端末からの接続を制御。

●標的型攻撃(APT攻撃)、悪性コードの遮断 : 重要情報窃取から保護

知能的な持続攻撃(APT攻撃)は、長時間にわたり攻撃を加えるため、標的型攻撃を検知するソリューション及びIDS/IPS製品と連動することにより、攻撃を検知したらTiFRONT-セキュリティスイッチで直ちに攻撃元となるゾンビPCを遮断することが可能。

●次世代 IEEE802.3at PoE+ を標準サポート

既存のIEEE 802.3af PoEでは動作できないパン/チルド/ズーム機能の可能な高解像度WEBカメラ(CCTV)、高性能無線APなどの最新PoE端末もTiFRONTではIEEE 802.3at PoE+サポートにより動作。

■ 「TiManager(ティマネージャー)」統合管理システムの特徴

TiManagerは、TiFRONT-セキュリティスイッチを統合管理するシステムソフトです。

リアルタイムのモニタリング機能は、トラフィックの管理、セキュリティ侵入状態のみならず、ユーザーIPの使用状況を一目で確認できます。また、数百に至るスイッチと各ポートに接続したIP情報を多彩なレポートで出力可能です。

セキュリティ設定では、個別・グループ別のポリシーを設定可能で、ポート別のセキュリティポリシー設定では、使用するIP/MACポートを指定して制御できます。ユーザーIP管理では、IPリソース及び端末の接続制御及び履歴紹介が可能です。

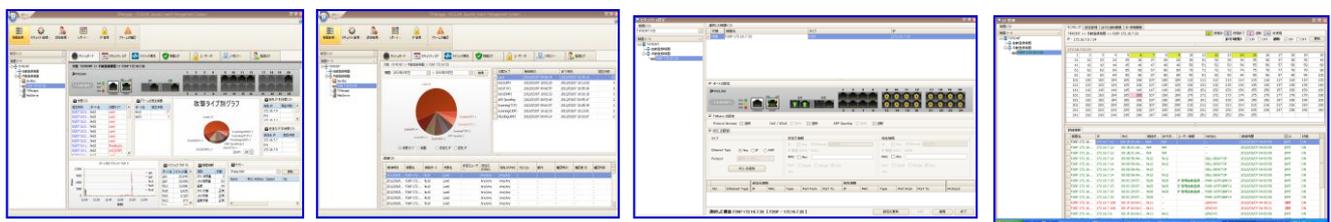
●TiFRONT-セキュリティスイッチ及びユーザーIP管理を同時に統合管理

●グループ毎、または個別のセキュリティポリシーの設定

●TiFRONT-セキュリティスイッチのコンフィグファイルのバックアップ/リストア、OSのアップグレード機能を提供

●1,000台以上のTiFRONT-セキュリティスイッチを同時に管理

●サイバー攻撃を検知する他のソリューションと連動することによりゾンビPCを遮断



■ 「TiFRONTーセキュリティスイッチ」の販売に関して

区分	内容	
製品モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・ TiFRONT-F26 : 100Mbps の 24 ポートと1Gbps の 2 ポートモデル ・ TiFRONT-F26P(D) : 100Mbps の 24 ポートと1Gbps の 2 ポート、PoE+及び電源二重化モデル ・ TiFRONT-G24 : 1Gbps の 24 ポートモデル ・ TiFRONT-G24P(D) : 1Gbps の 24、PoE+及び電源二重化モデル ・ TiFRONT-G48 : 1Gbps の 48 ポートモデル 	
販売開始	2012年4月2日	
販売方法	弊社の販売パートナーによる販売	
標準価格 (消費税別)	<ul style="list-style-type: none"> ・ TiFRONT-F26 240,000円 ・ TiFRONT-F26P(D) 380,000円 ・ TiFRONT-G24 400,000円 ・ TiFRONT-G24P(D) 720,000円 ・ TiFRONT-G48 560,000円 	

TiFRONT詳細資料は、こちらのカタログをご参照ください。

(ニュース) <http://www.piolink.co.jp/news/120314.html>

(TiFRONT カタログのダウンロード) <http://www.piolink.co.jp/news/pdf/tifront-1203.pdf> (3.2MB)

【PIOLINK について】

株式会社パイオリンクは、アプリケーション・スイッチ、ネットワーキング及び、ウェブセキュリティの専門ベンダーです。業務継続性、安定性、セキュリティ確保のためにADC(アプリケーション・デリバリー・コントローラ)製品としてPASシリーズをローエンドからハイエンドモデルまでラインアップ。ANS(アクセス・ネットワーク・セキュリティ)製品としてTiFRONT-アンチポット及びセキュリティスイッチを提供しています。

常に最先端の製品提供を志し、コストパフォーマンスに優れたパイオリンクの製品群は、北海道から九州・沖縄まで、日本全国での販売実績と24時間365日の保守サービス網を構築し、官公庁、自治体、金融機関、文教、医療など、約600サイトの1,400台の導入実績を持っています。

社名:株式会社パイオリンク

本社所在地:韓国 ソウル市

代表者:Young C. Cho(チョ・ヨンチョル)

設立:2000年7月26日

資本金:2億4,000万円

事業内容:アプリケーション・トラフィック・マネジメント(ATM)機器の開発・製造・販売・サービス

URL: <http://www.piolink.co.jp>

お問い合わせ先:

株式会社パイオリンク 日本支社 担当: 中村

住所:160-0022 東京都新宿区新宿 1-34-14 第2貝塚ビル 3F

TEL:03-5367-2547 FAX:03-5367-2546

E-mail: sales@piolink.co.jp